

令和4年度 事業報告 目次

I 作品	
(1) 収集	1
(2) 展示	2
(3) 貸出	2
II 展覧会	
(1) 企画展 市制90周年記念 リアル(写実)のゆくえ展 現代の作家たち 生きること、写すこと	3
(2) 特集展 けずる絵、ひっかく絵展	4
(3) 企画展 市制90周年記念 工藤麻紀子展 花が咲いて存在に気が付くみたいな	5
(4) 特集展 気になる！大好き！これなあに？ こどもたちのセレクション展	6
(5) 企画展 市制90周年記念 わたしたちの絵 時代の自画像展	8
(6) 特集展 現代日本画 コレクションのあゆみ	9
(7) 特集展 ロビー展 富岡奈津江展 陶のいきもの	11
III 教育普及	
(1) 令和4年度実施プログラム	12
(2) スクールプログラム	13
(3) 対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成	14
(4) アートカードの貸出	16
(5) 中村青田「七夕」特別展示	16
IV その他の事業	
(1) 事業	17
(2) 団体向け研修・体験プログラム	18
(3) 博物館実習生及び職場体験	18
(4) 所蔵品データベースの公開	18
V 施設利用者等の統計	
(1) 展覧会	19
(2) 貸出施設	20
VI 施設の管理	21

令和4年度 事業報告

I 作品

(1) 収集

寄贈作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法材料
1	大木雄二	羅生門：バジル	2021年	162.0×324.0	ミクストメディア・キャンバス
2	大木雄二	羅生門：紫	2021年	130.0×390.0	ミクストメディア・キャンバス
3	大沢昌助	ネック	1977年	97.0×130.3	油彩・キャンバス
4	河野通勢	桃源郷に遊ぶ人々	1941-42年頃	160.0×156.0	墨、彩色・紙
5	五島三子男	Dialogue/sea grassⅢ	2015年	100.5×116.5	染料、オフセットインク／海藻の版
6	五島三子男	Grass wording. Ⅲ-3	2017年	107.5×107.5	染料、オフセットインク／植物の版、コラージュ
7	五島三子男	Grass wording. Ⅳ-10	2019年	107.5×107.5	染料、オフセットインク／植物の版、コラージュ
8	五島三子男	Grass wording. Ⅰ-3	2021年	107.5×107.5	染料、オフセットインク／植物の版、コラージュ
9	星崎孝之助	Dame de Firmament (笛ふく天女)	1960年代	80.8×60.0	油彩・キャンバス
10	宮川慶子	聞こえる	2015年	h39.5	石塑粘土、油彩
11	森光子	天空の五指	2016年	15.0×15.0	セリグラフ・紙
12	山本丘人	海道の径	1984年	145.4×97.0	彩色・紙

寄託作品

NO	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	技法材料
1	井上三綱	箱根の秋	1936年	28.5×50.0	油彩・キャンバス
2	猪熊佳子	木霊—森へ—	1998年	182.0×240.0	彩色、綿布
3	岡村桂三郎	地神龍 11-1	2011年	230×550×8.6	岩絵具、板
4	坂口紀良	イドラ島の小径	2010年頃	116.7×80.3	油彩・キャンバス
5	島田章三	ホテルにて	1981年	148.5×112.0	油彩・キャンバス
6	関口俊吾	二人の女	1941年	64.0×51.9	油彩・キャンバス
7	高垣勝康	incarnation	2016年	43.0×43.0×73.0	楠に彩色、胡粉、鉛筆、漆
8	高垣勝康	incarnation (少女像)	不詳	18.0×18.0×35.0	楠に彩色、胡粉、鉛筆、漆
9	高垣勝康	incarnation	不詳	79.0×54.0	鉛筆、厚紙
10	長沢明	トラとワナⅢ	2003年	201.0×150.0	彩色、寒冷紗、パネル
11	三岸節子	静物	1940年頃	57.2×49.8	水彩・紙
12	宮いつき	双子座	1999年	162.0×130.0	彩色、紙

13	宮廻正明	無伴奏	2002年	259.0×181.8	彩色、紙
14	山口蓬春	梅花紅葉	1934年	各 163.7×391.0	紙本金地彩色
15	山本雄教	757円の男	2021年	90.0×90.0	フロッタージュ・紙
16	山本雄教	One coin people	2017年	172.0×360.0	フロッタージュ・紙
17	吉井淳二	強羅にて	1941年	37.5×45.3	油彩・板

(2) 展示

当館展覧会において下表のとおり、704点の作品を展示しました。

NO	種別	展覧会名	総出品点数	うち所蔵・寄託	うち借用
1	企画展	リアル(写真)のゆくえ展	116点	1点	115点
2	特集展	けずる絵、ひっかく絵展	62点	59点	3点
3	企画展	工藤麻紀子展	300点	0点	300点
4	特集展	気になる！大好き！これなあに？ こどもたちのセレクション展	74点	74点	0点
5	企画展	わたしたちの絵 時代の自画像展	70点	3点	67点
6	特集展	現代日本画展	41点	40点	1点
7	ロビー展	富岡奈津江展	41点	0点	41点
計			704点	177点	527点

(3) 貸出

開催展覧会の内容や意義、開催場所の設備・環境、作品の状態や当館での利用予定などを考慮し、下表のとおり13点の作品を貸し出しました。

NO	貸出先	展覧会名・会期	点数	作家・作品名
1	岐阜県美術館	前田青邨展 開館40周年記念 究極の白、天井の碧 近代日 本画の到達点(2022年9月30日 ～11月13日)	1点	前田青邨《桃花》
2	公益財団法人泉美 術館	中川一政・躍動する命展(2022 年10月8日～12月4日)	1点	中川一政《椅子の少女》
3	武蔵野美術大学	黒川弘毅—彫刻/触覚の理路 Kurokawa Hirotake— Sculpture/Haptic Passage(2022 年10月24日～11月20日)	7点	黒川弘毅《EROS No. 71》《EROS No. 72》 《EROS No. 53》《EROS No. 54》《EROS No. 55》《EROS No. 56》《EROS No. 57》
4	富山水墨美術館	南画×近代 大正～昭和初期 を中心として展(2022年11月 18日～2023年1月15日)	4点	今村紫紅《水汲む女》《牛飼う男》 萬 鉄五郎《風景》《茅ヶ崎風景》
計			13点	

II 展覧会

(1) 企画展 市制 90 周年記念 リアル(写実) のゆくえ展 現代の作家たち 生きること、写すこと

種 別	企画展
会 期	4月9日(土)～6月5日(日)
主 催	平塚市美術館
協 賛	神奈川中央交通株式会社
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30 まで)
休 館 日	月曜日
観 覧 料	一般900円、高大生500円
開催日数	50日
観覧者数	9,249人
担 当	勝山滋(当館学芸担当長)、品川ちひろ(当館会計年度任用職員)



深堀隆介「桜升 命名 淡紅」2017年

●内容

幕末から明治初めに流行った生人形の迫真の技は、当時の日本人はもとより、来日した西洋人にも大きな衝撃を与えました。明治20年代に滞日した人類学者シュトラッツは「解剖学の知識もなしに強い迫真性をもって模写することができる」生人形師の力量に感嘆しました。また、彼は、生人形が理想化も図式化もされず、ありのままの姿であることにも着目しています。

高村光雲も幼い時に松本喜三郎の生人形の見世物を見ています。後年、彼は西洋由来ではない写実を気付かせた存在として、松本喜三郎をはじめとする生人形師を敬慕しています。

ここで重要なのは、写実表現はそもそもこの国にあったということです。遡れば江戸期の自在置物、さらには鎌倉時代の仏像に行きつきます。写実はやの東西を問わず追求されてきたと見るべきでしょう。日本は近代化する過程において西洋由来の新たな写実表現を受容しました。これは既存の写実の方法や感性を新たに上書きする、もしくは書き替える作業であったことと思われます。

今また写実ブームが到来しています。現代の作家が手がけた作品にも先祖返り的な要素が見受けられます。これは旧来の伝統的な写実が息づいている証です。連綿と続く写実の流れが、いわば間欠泉の様に、息吹となって彼らの作品を介して噴出しているのです。また、彼らの作品の中には近代的なものと土着的なものが拮抗し、新たな写実を模索している姿勢も見出せます。このような傾向は、高橋由一まで遡ることができます。

本展では、松本喜三郎らの生人形、高橋由一の油彩画を導入部として、現代の絵画と彫刻における写実表現を検証しました。西洋の文脈のみではとらえきれない日本の「写実」がどのように生まれたのか、その手がかりを探りました。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①4月30日(土)、②5月28日(土) 各日14:00～14:40

場所：展示室I

参加者：①30人、②80人

(2) 特集展 けずる絵、ひっかく絵展

種 別	特集展
会 期	4月9日(土)～6月12日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	56日
観覧者数	9,325人
担 当	家田奈穂(当館学芸員)



岡村桂三郎「百眼の魚 18-1」2018年

●内容

「絵を描く」というと、線を引き、絵具を塗るという行為を連想しますが、人類最初の文化遺産として知られている洞窟壁画が、壁に動物や人間の形を線刻していることから明らかなように、長い美術の歴史において、表現の様式は決して画一的なものではありません。本展では、絵具を削り、あるいは、引っかいた痕跡を画面にのこして仕上げた作家に注目し、所蔵品の中から、井上三綱(1899-1981)、鳥海青児(1902-1972)、内田あぐり(1949-)、岡村桂三郎(1958-)の作品約50点を展示したほか、藤沢市に在住で近年注目されている山内若菜(1977-)の作品をご紹介します。

井上と鳥海は、戦前から洋画家として活動し、欧米と日本の対比や国際的な美術の潮流の中で日本の作家として特性をいかに打ち出すかという課題を抱えていました。一方、戦後生まれの内田は人間存在の本質に迫ることに、岡村は人間と自然との関係性に、山内は傷ついた動物と自身の心を重ね合わせることに制作の要点があります。各作家の問題意識にもとづいて「けずる、ひっかく」という手法が用いられ、それが作家の表現様式として実を結んでいる点に着目し、作品をご鑑賞いただきました。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①4月23日(土)、②5月14日(土) 各日14:00～14:30

場所：展示室Ⅱ

参加者：①15人、②30人

○ワークショップ

「和紙に、描いて♪ けずって・ひっかいて！ 動物になった私を巨大壁画に描こう♪」

日時：4月17日(日) 各日13:30～16:00

場所：アトリエA

参加者：16人

「和紙に木に、描いて♪ けずって・ひっかいて！ 好きな動物になった私を描こう♪」

日時：5月8日(日) 各日13:30～16:00

場所：アトリエB

参加者：13人

(3) 企画展 市制90周年記念 工藤麻紀子展 花が咲いて存在に気が付くみたいな

種 別	企画展
会 期	7月9日(土)～9月11日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(7月18日は開館)、7月19日(火)
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	56日
観覧者数	7,248人
担 当	江口恒明(当館学芸員)、桑名真吾(当館学芸員)



工藤麻紀子「菜の花ラーメン」2020年

●内容

工藤麻紀子(1978-)は、青森県に生まれ、2002年に女子美術大学芸術学部絵画科洋画専攻を卒業。2014年から5年間平塚市内にアトリエをかまえ、現在まで個展を中心に活動しています。現代の絵画表現を紹介するグループ展でも継続的に取り上げられるなど、日本のアートシーンを語るうえで欠かせない画家のひとりに数えられます。

工藤は色面による構成と装飾的な表現により、日常の生活を題材にした心象風景を描きつづけています。デビュー当初は鮮やかな色彩とポップなイメージを強調した作風で脚光を浴びました。視点を混在させた構図やコラージュのようなモチーフの配置など、画面の構成力には卓越した技術があり、マチスやボナールに通じる色彩と装飾性を兼ね備えた作品は国際的にも高く評価されています。

身近な出来事に対する思いを作品に投影させる描き方は初期から一貫したものです。その画面には普段の生活で見聞きしたもの、住む土地や記憶が一体となって、夢の中のような混沌とした風景が広がっています。同時に、作品を見る人にとって、記憶にある風景や出来事を呼び覚ます、親密さとストーリー性も有しています。

本展は国内美術館における工藤の初個展となり、新作とインスタレーション作品を含む300点により現在までの活動を紹介しました。

●関連事業

○工藤麻紀子氏によるアーティストトーク

日時：7月23日(土) 16:30～17:00頃

場所：展示室I ※事前申込制

参加者：22人

○鑑賞会「夏のおしゃべり美術館」

日時：8月23日(火)～26(金) 11:00～12:00

場所：展示室I

参加者：計86人

(4) 特集展 気になる！大好き！これなあに？ こどもたちのセレクション展

種 別	特集展
会 期	7月2日(土)～9月19日(月・祝)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30 まで)
休 館 日	月曜日(7月18日、9月19日は開館)、7月19日(火)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	69日
観覧者数	8,411人
担 当	安部沙耶香(当館学芸員)、品川ちひろ(当館会計年度任用職員)



林敬二「貌の遠近法」2007年

●内容

「気になる！大好き！これなあに？こどもたちのセレクション」を開催しました。本展は、過去に実施した展覧会鑑賞ツアーで子どもたちが興味や反応を示した所蔵品をご紹介する展覧会で、2015年に開催した「気になる！大好き！これなあに？赤ちゃんたちのセレクション～春の所蔵品展～」の第2弾となります。

当館では、2012年から乳幼児とその保護者向けの展覧会鑑賞ツアーを定期的に行っています。これは乳幼児と美術作品との出会いの場を用意し、美術鑑賞を通じて親子のコミュニケーションを図ることを目的としたプログラムです。このツアーでは、いわゆる一般向けの展覧会を鑑賞します。その際、自分の子どもがどの作品にどのような反応を示したのかを保護者に記録してもらっています。

現在までに参加した約1000人分の記録を分析すると興味深い結果が得られています。カラフルな作品や動物の作品など子どもが喜びそうな作品に反応するだけでなく、大人が難しくとっつきにくいと感じる抽象画や地味な印象を受ける作品にも反応を示すのです。また、子どもは発達段階に応じた独自の視点を持っていることも知られています。美術鑑賞は小さな子どもにはまだ早い、難しいなどということは決してありません。文字を読むことのできない小さな子どもは、作品そのものから何かを感じ取り、それに対しリアクションを取ります。そして、その言葉や態度は、案外作品の本質をついていることがあります。自由にそして純粹に作品と向き合っているのです。以上をふまえて、2015年から現在までの鑑賞ツアーの結果をもとに、大人の先入観を除き、乳幼児が多く興味反応を示した作品を紹介する展覧会を企画しました。

展示作品の横には乳幼児の反応や言葉、保護者のコメントを紹介するパネルを掲示します。身近なお子さんと他の子どもたちの反応を比較してみてください。また、乳幼児を連れて展覧会を鑑賞するポイントもご紹介します。

本展をきっかけに、子どもたちの新鮮な反応とともに美術作品を鑑賞する楽しさを感じ、かけがえのない時間を共有していただければ幸いです。

なお、本展は、美術による子育て支援活動を実践している富田めぐみ氏(NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)の研究内容の提供により開催いたしました。

あわせて本展会場内において、3館コラボ事業にまつわる特集展示として市制施行90周年記念「Back to 1932—4人の作家たちの青春」と題して90年前に制作された田中真洲、鳥海青児、森田勝、横田七郎の16点により20代から40代までの作家の青春群像を追いました。

●関連事業

○担当学芸員と富田めぐみ氏(NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)によるギャラリートーク

日時:①7月23日(土)、②8月20日(土) 各日14:00~14:30

場所:展示室Ⅱ

参加者:①8人 ②14人

○ワークショップ「キッズ鑑賞ツアー」

日時:①7月31日(日)、②8月10日(水) 各日10:00~11:00

講師:富田めぐみ氏(NPO法人 赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 代表理事)

場所:展示室Ⅱ ※事前申込制

参加者:①16人 ②20人

○お気に入りの作品を選ぼう!!

展覧会を見たのち一番興味を持った作品のパネルにシールを貼ってもらう企画

日時:7月2日(土)~9月19日(月・祝)

対象:来場した0才から中学生

参加者:1764人(0才:84人、1~2才:230人、3~5才:410人、小・中学生:1040人)

(5) 企画展 市制 90 周年記念 わたしたちの絵 時代の自画像展

種 別	企画展
会 期	10月1日(土)～11月27日(日)
主 催	平塚市美術館
助 成	朝日新聞文化財団
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日(10月10日は開館)、10月11日(火)
観 覧 料	一般800円、高大生500円
開催日数	50日
観覧者数	4,050人
担 当	勝山滋(当館学芸担当長)、家田奈穂(当館学芸員)



松本亮平「鯉通勤図」2021年

●内容

バブル崩壊、新型コロナウイルス感染症、さらに戦争という厳しい社会状況のなかで、美術には何ができ、我々に何をもちたしてくるのでしょうか。我々と同時代に生きる多くの現代作家が、様々な立場で社会と向き合い制作してきました。ある作家は自らの心のうちを見つめ、またある作家は我々の置かれたゴミ問題や温暖化などといった現代特有の諸問題に目をむけて描いています。

近年、社会を批判しタブーに対して異議を唱える作品が論議を呼ぶ一方で、わたしたちと同じ立ち位置で生活し、悩み、逡巡しながら制作する作家の作品は、我々が社会でふと感じる生きづらさや違和感を提示して見せてくれ、密接に寄り添い共感を呼ぶものであるはずです。

そこで本展は、こうした厳しい社会のなかで自らを見つめ、また、社会の諸問題に向き合って制作する現代作家を紹介し、そこに時代的な共通性を探るとともに、根源的に人間の営みと直結してきたはずの美術の役割を思い返し、復権させる一助とする趣旨のもとで開催しました。

作品はその時代の鏡であり、我々を映すものでもあります。作品をみることで自らや社会を見つめ直し、共感したり心をざわつかせることは、必ず今を生きる糧となり将来へとつづく道を照らしてくれるはずです。

本展出品作家としては、自らを見つめ困難な時代を生きる我々や作家自身を表現した石田徹也、大木雄二、佐藤忠、重野克明、村上早、谷原菜摘子、山本雄教、環境やごみ問題、エコロジー、原発ほか我々を取り巻く諸問題を扱った石川美奈子、五島三子男、田中武、松本亮平、養田純奈、米山幸助の13人で、4050人の来場者となりました。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①10月15日(土) ②11月19日(土) 各日14:00～14:40

場所：展示室I

参加者：①20人、②30人

○出品作家による公開制作(山本雄教氏)

日時：8月30日(火)～9月7日(水)、9月11日(日)～9月15日(木)

場所：アトリエA

(6) 特集展 現代日本画 コレクションのあゆみ

種 別	特集展
会 期	10月29日(土)～2023年2月19日(日)
主 催	平塚市美術館
開館時間	9:30～17:00(入場は16:30まで)
休 館 日	月曜日、(10月10日、2023年1月9日は開館し、翌火曜日休館)、年末年始(12月29日～1月3日)
観 覧 料	一般200円、高大生100円
開催日数	91日
担 当	桑名真吾(当館学芸員)
観覧者数	6,551名



内田あぐり「吊された男#01K」 2001年

●内容

平塚市美術館では、1991年の開館にさきだち、湘南ゆかりの美術作家の作品、日本の近現代美術を中心に収集活動を行う方針が定められ、加えて2005年からは現代の日本画を紹介する展覧会に力をいれてきました。伝統的な日本画の枠にはまらない作品が次々と生み出された状況をふまえつつ、当館における現代日本画の展覧会、収集活動は展開してきました。本展では当館のコレクションから、日本画表現を革新した作家たちの作品を紹介しました。

伊藤彬(1940-)、中島千波(1945-)、中野嘉之(1946-)は、所属団体を越えた活動を展開した「横の会」の結成に参加し、日本画の革新を試みます。その後、内田あぐり(1949-)は歪み、断片化する女性の身体を描き、重層的な画面をつくり出しました。聖書や神話に取材して二元論的世界を表現する山本直彰(1950-)、樹や水といった霊的な自然存在を主題とする斉藤典彦(1957-)、仏教の神話を題材とし焼成した木材に夢幻的なイメージを刻印する岡村桂三郎(1958-)、キリスト教と信仰をモチーフとして日本画を制作するマコトフジムラ(1960-)らは、日本画における人間と自然、あるいは聖なるものとの関係を提示しています。さらに、現代日本のいびつな都市風景を山水に見立てる三瀬夏之介(1973-)の作品に加え、独自の神話世界を表現した瓜南(かなん)直子(1955-2012)の表現も取り上げました。

現代の日本画表現には、西洋画との差異化の必要性から生まれたアニミズム(自然信仰)のテーマが通底している一方で、西洋美術史のモチーフを柔軟に取り入れ引用する身振りがかいま見られ、そのあり方は一様ではありません。本展がそうした多様な表現の一端にふれる機会になれば幸いです。

●関連事業

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時：①12月17日(土)、②令和5年1月29日(日) 各日14:00～14:30

場所：展示室Ⅱ

参加者：①7名 ②15名

○草薙奈津子(当館特別館長)講演会

日時：令和5年1月9日(月・祝) 14:00～15:00

場所：ミュージアムホール

参加者：78名

○マコト・フジムラ氏によるアーティストトーク

日時：令和5年1月13日(金) 16:00～16:45

場所：ミュージアムホール

参加者：25名

○内田あぐり氏によるアーティストトーク

日時：令和5年2月5日(日) 14:00～14:45

場所：展示室2

参加者：28名

○斉藤典彦氏によるアーティストトーク

日時：令和5年2月19日(日) 14:00～14:45

場所：展示室2

参加者：58名

(7) 特集展 ロビー展 富岡奈津江展 陶のいきもの

種 別	特集展
会 期	12月3日(土)～2023年4月2日(日)
主 催	平塚市美術館
企画協力	galerieH
開館時間	9:30～17:00
休 館 日	月曜日(2023年1月9日は開館し、翌火曜日休館)、年末年始(12月29日～1月3日)
観 覧 料	無料
開催日数	99日
担 当	安部沙耶香(当館学芸員)
観覧者数	9,794名(入場者数)



富岡奈津江《ペンギン》2012年、作家蔵

●内容

「富岡奈津江展 陶のいきもの」を開催しました。陶芸家・富岡奈津江(とみおかなつえ、1985年東京生)は、女子美術大学工芸学科陶コース、多摩美術大学大学院陶専攻を修了後、ギャラリーでの個展やグループ展を中心に活動を続けています。

一貫して人間以外のいきものをモチーフとして陶による立体作品を制作しています。そのモチーフは、犬や猫などではなく、普段あまり身近ではない動物たちです。制作において、動物たちの生態や骨格の探求し、感情や内面、本能をほぼ実物大の作品の中に表現しています。

作家のつくるいきものたちは皮膚や毛などの表面の質感に特徴があります。そのうごめくようなテクスチャーは、粘土を振り彫り込み釉薬を細かく掛け分けることで緻密に表現されています。制作過程において粘土を捏ねているときは作家と作品の関係は密となりますが、最後には作家の手を離れ、窯で焼成することで作品が完成します。土と水でできている陶土に炎が加わることで、物理的な強度が増すと同時に魅力的な色調が生み出されるのです。ときには作家の想像を超える色が生まれることもあり、こうしたプロセスが陶芸の醍醐味であると作家は述べています。

公立美術館で初の個展となる本展は、陽光のそそぐ広いテーマホールにいきものたちの立体作品約40点を展示します。富岡奈津江の生命力溢れるいきものたちをお楽しみいただきました。

●関連事業

○富岡奈津江氏アーティストトーク

日時：①令和4年12月3日(土)、②令和5年2月18日(土)、③3月19日(日) 各日14:00～15:00

場所：テーマホール

参加者：①20人②40人③40人

○富岡奈津江氏によるワークショップ

日時：①令和5年2月4日(土)、18日(土) ②3月5日(土)、19日(日)

場所：アトリエ

参加者：①12人②11人

Ⅲ 教育普及

(1) 令和4年度実施プログラム

22プログラム実施 参加者数：314人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館会計年度任用職員)、品川ちひろ(当館会計年度任用職員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	材料費	対象	参加者数
1	和紙に、描いて・けずって・ひっかいて！動物になった私を巨大壁画に描こう	山内若菜(日本画家)	4月17日(日)	500円	3歳～一般	9組 16人
2	和紙に木に、描いて・けずって・ひっかいて！好きな動物になった私を描こう	山内若菜(日本画家)	5月8日(日)	500円	3歳～一般	13人
3	キッズアート・ピクニック	富田めぐみ※	5月27日(金)	1組 500円	親子 (2～4歳)	8組 18人
4	キッズアート・ピクニック	富田めぐみ※	6月24日(金)	1組 500円	親子 (2～4歳)	6組 13人
5	体験アートセラピー 親子でパステルワーク～お魚塗り絵で遊ぼう～	福山恵美子 (アートセラピスト)	7月2日(土)	200円	親子 (小中学生)	6組 14人
6	おうちの窓を天の川にしよう！星とカササギの七夕モビールづくり	依田梓(美術家)	7月3日(日)	600円	親子 (小中学生)	6組 14人
7	こどもセレクション展 キッズ鑑賞ツアー	富田めぐみ※	7月31日(日)	無料	親子 (0歳～小学生)	8組 16人
8	中高生ボランティアと一緒に光のオブジェを作ろう！	中高生ボランティア	8月6日(土)	無料	5歳～小学生	10人
9	こどもセレクション展 キッズ鑑賞ツアー	富田めぐみ※	8月10日(水)	無料	親子 (0歳～小学生)	9組 20人
10	中高生ボランティアと一緒に光のオブジェを作ろう！	中高生ボランティア	8月14日(日)	無料	5歳～小学生	10人
11	キッズアート・ピクニック	富田めぐみ※	9月25日(日)	1組 500円	親子 (2～4歳)	9組 21人
12	体験アートセラピー 大人のための「心をほぐす」パステルアート	福山恵美子(アートセラピスト)	10月8日(土)	300円	中学生～一般	6人
13	時代の自画像展関連事業 こわい絵を描こう	谷原菜摘子(画家)	10月9日(日)	1,500円	中学生～一般	9人
14	東海大学協同事業 デッサン教室 所蔵彫刻作品を描いてみよう！	吉村維元(東海大学教授)、 筑菜奈子(東海大学講師)	10月22日(土)	500円	中学生～一般	13人
15	キッズアート・ピクニック 12月	富田めぐみ※	12月2日(金)	1組 500円	親子 (2～4歳)	8組 16人
16	版画講座 紙のドライポイントでカレンダーを作ろう！	城戸宏(版画工房主宰)	12月4日(日)	600円	小学生～一般	中止
17	版画講座 ポリエステルリトグラフに挑戦！	城戸宏(版画工房主宰)	1月8日(日)、 15日(日)	2,000円	小学生～一般	15人
18	キッズアート・ピクニック 1月	富田めぐみ※	1月12日(木)	500円	親子 (2～4歳)	6組 13人
19	赤ちゃんアート・ピクニック 2月	富田めぐみ※	2月1日(水)	1組 500円	親子 (1～2歳)	11組 22人

20	富岡奈津江展 陶のいきもの 関連事業 陶芸で自分の干支の いきものを作ろう!	富岡奈津江(陶芸家)	2月4日(土)、 18日(土)	1,500円	15歳～ 一般	12人
21	富岡奈津江展 陶のいきもの 関連事業 陶芸で自分の干支の いきものを作ろう!	富岡奈津江(陶芸家)	3月5日(日)、 19日(日)	1,500円	小学生～ 中学生	11人
22	バックヤードツアー 子ども向 け	当館学芸員	3月21日(火・ 祝)	無料	小学生～ 中学生	15人
23	バックヤードツアー 大人向け	当館学芸員	3月21日(火・ 祝)	無料	15歳～ 一般	17人

※PO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事

(2) スクールプログラム

児童・生徒・学生向けプログラム 11プログラムを実施 参加者数：198人

教員向けプログラム 5プログラムを実施 参加者数：66人

担当：江口恒明(当館学芸員)、久保田知美(当館会計年度任用職員)、品川ちひろ(当館会計年度任用職員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
1	「リアルゆくえ展」観覧・レクチャー	当館学芸員	4月28日(木)	東京藝術大学絵画科油画専攻の学生と引率者	20人
2	教員向け 対話による美術鑑賞体験	当館学芸員	5月5日(木・祝)	小・中・高・特別支援学校の教職員	2人
3	神奈川県立平塚養護学校団体系館(指人形制作ワークショップ)	当館学芸員	6月14日(火)	小学部3年生と引率者	17人
4	平塚市立小学校教育研究会 図画工作部研修	ひらびあ一つま〜れ	6月15日(水)	平塚市内小学校教員図画工作部所属教員	35人
5	平塚市立土屋小学校団体系館(バックヤードツアー)	当館学芸員	6月21日(金)	3年生と引率者	19人
6	平塚市立港小学校団体系館(バックヤードツアー)	当館学芸員	7月13日(水)	支援学級児童と引率者	23人
7	「工藤麻紀子展」鑑賞・レクチャー	当館学芸員	7月26日(火)	平塚市立横内中学校美術部生徒と引率者	11人
8	教員向け 対話による美術鑑賞体験	当館学芸員	7月27日(水)	小・中・高・特別支援学校の教職員	8人
9	「工藤麻紀子展」鑑賞・レクチャー	当館学芸員	7月27日(水)	平塚市立金目中学校美術部生徒と引率者	12人
10	社会体験研修	当館学芸員	7月27日(水) 8月6日(金) 8月17日(火)	市内小学校5年経験者研修教員	5人
11	中学・高校生のワークショップボランティア	当館学芸員	8月3日(水) 8月6日(土) 8月14日(日)	中高生	9人
12	「工藤麻紀子展」鑑賞・レクチャー	当館学芸員	8月5日(金)	平塚市立大洋中学校美術部生徒と引率者	21人
13	教員向け実技講座「寄木細工」	露木 清高氏 (箱根寄木技能士)	8月9日(火)	小・中・高・特別支援学校の教職員	16人
14	「時代の自画像展」鑑賞・レクチャー	当館学芸員	11月13日(日)	多摩美術大学日本画研究室の学生と引率者	33人
15	「時代の自画像展」鑑賞・レクチャー	当館学芸員	11月18日(金)	実践女子大学文学部美学美術史学科の学生と引率者	22人

NO	講座名	講師	実施日	対象	参加者数
16	大磯町立大磯中学校美術部団体来館 (対話による美術鑑賞プログラム)	当館学芸員	3月30日(木)	大磯町立大磯中学校美術部の生徒と引率者	11人

(3)対話による美術鑑賞事業・ボランティア育成

対話による美術鑑賞授業 10校24クラス(13学年)実施 参加人数：753人

担当：江口恒明(当館学芸員)、浅野泰恵子(当館会計年度任用職員)

NO	学校名	準備日	授業実施日 (事前授業)	授業実施日 (来館授業)	学年	クラス数	参加人数
1	旭小学校	6月1日(水)	6月8日(水)	-	4年	3クラス	91人
2	岡崎小学校	6月29日(水)	7月12日(火)	-	6年	2クラス	74人
3	土屋小学校	10月14日(金)	10月21日(金)	10月28日(金)	6年	1クラス	15人
4	土屋小学校	10月14日(金)	10月21日(木)	-	4年	1クラス	21人
5	松が丘小学校	10月18日(水)	10月25日(火)	11月1日(火)	6年	2クラス	50人
6	中原小学校	11月4日(金)	11月11日(金)	11月15日(火)	3年	2クラス	74人
7	中原小学校	11月15日(金)	11月18日(金)	11月25日(金)	4年	2クラス	70人
8	大原小学校	11月22日(火)	11月29日(火)	12月6日(火)	3・4年	2クラス	59人
9	神田小学校	12月1日(木)	12月8日(木)	-	3年	2クラス	53人
10	勝原小学校	1月17日(火)	1月24日(火)	-	4年	2クラス	61人
11	崇善小学校	1月27日(金)	2月2日(木) 2月8日(水)	2月16日(木)	2年	3クラス	117人
12	金田小学校	2月17日(金)	2月24日(金)	-	4年	2クラス	68人

事前授業のみの授業も実施しました。

授業の実施はひらびあ一つま〜れのメンバーが担当しています。

●一般来館者を対象に対話による美術鑑賞を実施しました。

1プログラム(計4回)を実施 参加人数：86人

NO	鑑賞会名	講師	実施日	参加人数
1	おしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ	8月23日(火)	13人
2	おしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ	8月24日(水)	17人
3	おしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ	8月25日(木)	32人
4	おしゃべり美術館	ひらびあ一つま〜れ	8月26日(金)	24人

●ボランティア育成のための研修等を実施しました。

対話による美術鑑賞ボランティア(ひらびあ一つま〜れ)7期生の研修及び新規加入の8期生13名の育成を継続しています。また、8期生募集のための体験会、ボランティア同士の交流やミーティングを目的としたひらびcaféを実施しました。

41プログラムを実施 参加者数：397人

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
1	7期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	4月9日(土)	10人
2	自主研修	当館学芸員	4月23日(土)	7人

NO	講座名	講師	実施日	参加人数
3	ひらびーcafé(スクールプログラムミーティング)	当館学芸員	4月30日(土)	7人
4	自主研修	当館学芸員	5月5日(木)	11人
5	ひらびーcafé(体験会ミーティング)	当館学芸員	5月18日(水)	8人
6	7期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	5月21日(土)	12人
7	ひらびーcafé(体験会ミーティング)	当館学芸員	5月24日(火)	4人
8	自主研修	当館学芸員	5月26日(木)	8人
9	自主研修	当館学芸員	6月4日(土)	9人
10	ひらびーcafé(図工部会ミーティング)	当館学芸員	6月10日(金)	6人
11	体験会1回目	当館学芸員	6月11日(土)	12人
12	7期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	6月17日(金)	13人
13	体験会2回目	当館学芸員	6月25日(土)	9人
14	自主研修	当館学芸員	7月7日(木)	4人
15	ひらびーcafé(おしゃべり美術館ミーティング)	当館学芸員	7月14日(木)	9人
16	7期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	7月15日(金)	16人
17	ひらびーcafé(スクールプログラムミーティング)	当館学芸員	7月20日(水)	9人
18	自主研修	当館学芸員	7月21日(木)	6人
19	自主研修	当館学芸員	8月4日(木)	9人
20	ひらびーcafé(おしゃべり美術館ミーティング)	当館学芸員	8月18日(木)	11人
21	8期基礎研修1回目	三ツ木紀英(ARDA)	9月10日(土)	13人
22	8期基礎研修2回目	三ツ木紀英(ARDA)	9月17日(土)	12人
23	自主研修	当館学芸員	9月21日(水)	6人
24	自主研修	当館学芸員	10月5日(水)	10人
25	8期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	10月15日(土)	9人
26	8期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	10月29日(土)	13人
27	8期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	11月5日(土)	11人
28	自主研修	当館学芸員	11月8日(火)	6人
29	自主研修	当館学芸員	11月9日(水)	3人
30	8期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	11月19日(土)	11人
31	8期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	12月3日(土)	12人
32	ソーシャルディスタンス授業研修	桑原和美(ARDA)	12月17日(土)	10人
33	ソーシャルディスタンス授業研修	桑原和美(ARDA)	1月7日(土)	10人
34	自主研修	当館学芸員	1月12日(木)	10人
35	8期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	1月21日(土)	9人
36	8期実践研修	三ツ木紀英(ARDA)	2月11日(土)	8人
37	自主研修	当館学芸員	2月21日(火)	5人
38	自主研修	当館学芸員	2月25日(土)	9人
39	ひらびーcafé(事業ミーティング)	当館学芸員	3月3日(金)	22人
40	自主研修	当館学芸員	3月25日(土)	6人
41	アートカード研修	桑原和美(ARDA)	3月29日(水)	22人

(4)アートカードの貸出

平塚市美術館を代表する所蔵作品 48 点のカードと遊び方の説明書を合わせたアートカードセットを、学校向け教材として無料貸出を行っています。

貸出実績：3 件

(5)中村青田「七夕」特別展示

湘南ひらつか七夕まつりにあわせ、7月5日-10日に中村青田「七夕」をテーマホールで展示しました。

IV その他の事業

(1) 事業

●七夕飾り



ワークショップ「おうちの窓を天の川にしよう！星とカササギの七夕モビール作り」で制作した七夕飾りを展示しました。

期 間：7月3日(土)～7月19日(火)

主 催：平塚市美術館

内 容：平塚の七夕祭りの時期にあわせて、ワークショップ講師、参加者の方々と一緒にテーマホールの窓に飾りつけ、来館者にも楽しんでいただきました。

場 所：テーマホール ※自由観覧

展示指導：ワークショップ講師 依田 梓氏 (美術家)

●ミュージアムコンサート



市民に美術館をより親しんでいただくため、テーマホールで「歌とヴァイオリンの調べに」と題したコンサートを開催しました。

日 時：令和5年2月25日(土) 14時00分～15時00分

内 容：ソプラノ歌手 岩崎由紀子氏の独唱、田中園子 氏のヴァイオリン、西野えり香氏・金子雅代氏のピアノ演奏を楽しんでいただきました。

参加者数：150人

(2) 団体向け研修・体験プログラム

新型コロナウイルス感染症対策のため実施しませんでした。

(3) 博物館実習生及び職場体験

● 博物館実習生の受け入れ

当館の活動に携わることで学芸員の職務を理解することを目的として、美術を専攻する博物館学実習生 11 人(9 大学)を受け入れ、6 月から 12 月まで実習を実施しました。

● 中堅教諭等資質向上研修・社会体験研修の受け入れ。

5 年時研修として 3 名の教員の受け入れを行いました。

● 職場体験

美術館の仕事を実際に体験することで社会性・勤労観やマナーを身に付け、将来の職業選択につながるよう、市内中学校 5 校 20 人を対象に美術館の概要講義や業務体験を実施しました。

また、市内高校 2 校 2 人のインターンシップを実施しました。

(4) 所蔵作品データベースの拡充

令和 3 年度から所蔵作品のデータベースを整備し、WEB 上に公開しています。

公開している情報は、作家名、作品名、制作年、材質技法、寸法、寄贈者、作品画像等です。

なお、作品は、作家名、ジャンルやキーワードなどで検索することができます。

令和 4 年度は、洋画・版画等 305 件の画像データを追加しました。

日本語サイト：<https://jmapps.ne.jp/hiratukabi/>

英語サイト：https://jmapps.ne.jp/hiratukabi_en/

V 施設利用者等の統計

(1) 展覧会

●観覧者数

月	R 4年度				R 3年度				R2年度			
	開館日数	企画展	特集展	合計	開館日数	企画展	特集展	合計	開館日数	企画展	特集展	合計
4月	26日	1,750人	1,801人	3,551人	26日	2,842人	-	2,842人	-	-	-	-
5月	26日	5,864人	5,630人	11,494人	26日	16,666人	-	16,666人	-	-	-	-
6月	26日	1,635人	1,894人	3,529人	26日	11,803人	-	11,803人	13日	-	404人	404人
7月	27日	2,262人	2,830人	5,092人	27日	2,155人	1,938人	4,093人	27日	-	1,470人	1,470人
8月	26日	3,435人	3,776人	7,211人	26日	3,202人	2,607人	5,809人	26日	-	2,286人	2,286人
9月	26日	1,551人	1,805人	3,356人	26日	2,048人	1,791人	3,839人	26日	-	1,655人	1,655人
10月	27日	1,367人	192人	1,559人	27日	2,439人	1,856人	4,295人	27日	-	2,437人	2,437人
11月	25日	2,683人	2,737人	5,420人	25日	3,101人	2,791人	5,892人	25日	-	2,186人	2,186人
12月	24日	-	1,573人	1,573人	24日	2,083人	2,061人	4,144人	23日	-	1,238人	1,238人
1月	24日	-	2,614人	2,614人	24日	-	2,052人	2,052人	24日	-	1,214人	1,214人
2月	24日	-	3,976人	3,976人	24日	-	2,161人	2,161人	24日	-	1,852人	1,852人
3月	27日	-	4,683人	4,683人	27日	-	3,755人	3,755人	26日	-	1,973人	1,973人
4月	3日	-	570人	570人	3日	-	532人	532人	4日	-	627人	627人
計	311日	20,547人	34,081人	54,628人	311日	46,339人	21,544人	67,883人	245日	0人	17,342人	17,342人

●学校観覧

		R 4年度						R 3年度						R 2年度					
		企画展			特集展			企画展			特集展			企画展			特集展		
		学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数	学校数	生徒数	教員数
小学校	市内	4校	204人	20人	6校	234人	33人	7校	443人	33人	10校	590人	51人	-	-	-	4校	264人	21人
	市外	2校	108人	5人	3校	337人	15人	-	-	-	0校	0人	0人	-	-	-	0校	0人	0人
中学校	市内	6校	49人	20人	6校	49人	20人	2校	14人	6人	1校	5人	2人	-	-	-	1校	5人	3人
	市外	8校	117人	11人	9校	138人	23人	2校	20人	2人	2校	20人	2人	-	-	-	0校	0人	0人
高等学校		0校	0人	0人	3校	37人	16人	6校	40人	20人	5校	31人	16人	-	-	-	0校	0人	0人
計		20校	478人	56人	27校	795人	107人	17校	517人	61人	18校	646人	71人	-	-	-	5校	269人	24人

(2)貸出施設

●市民アートギャラリー

月	R 4年度			R 3年度			R 2年度		
	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数	利用日数	団体数	入場者数
4月	12日	2団体	744人	12日	2団体	541人	-	-	-
5月	24日	4団体	2,015人	17日	4団体	1,470人	-	-	-
6月	18日	3団体	1,380人	12日	2団体	1,278人	-	-	-
7月	24日	4団体	2,514人	18日	4団体	1,966人	6日	1団体	1,050人
8月	23日	6団体	2,198人	16日	5団体	1,087人	11日	2団体	383人
9月	17日	5団体	1,826人	13日	2団体	492人	19日	4団体	1,339人
10月	19日	3団体	1,971人	19日	3団体	1,601人	13日	2団体	792人
11月	28日	7団体	4,811人	24日	5団体	2,814人	12日	1団体	317人
12月	12日	3団体	1,086人	6日	2団体	606人	6日	1団体	307人
1月	25日	6団体	6,345人	13日	3団体	1,038人	13日	3団体	783人
2月	12日	3団体	1,642人	12日	3団体	762人	12日	2団体	522人
3月	30日	4団体	2,763人	24日	4団体	3,291人	12日	2団体	673人
計	244日	50団体	29,295人	186日	39団体	16,946人	115日	18団体	6,166人

●ミュージアムホール

月	R 4年度			R 3年度			R 2年度		
	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	2日	2団体	95人	3日	3団体	152人	-	-	-
5月	1日	1団体	35人	-	-	-	-	-	-
6月	4日	5団体	235人	4日	4団体	137人	-	-	-
7月	3日	3団体	108人	2日	2団体	100人	-	-	-
8月	2日	2団体	154人	1日	1団体	22人	1日	1団体	47人
9月	6日	6団体	176人	4日	5団体	181人	3日	3団体	105人
10月	2日	2団体	98人	2日	2団体	90人	1日	1団体	70人
11月	2日	2団体	80人	-	-	-	1日	1団体	47人
12月	5日	5団体	270人	4日	6団体	263人	6日	6団体	293人
1月	5日	5団体	149人	1日	1団体	50人	0日	0団体	0人
2月	4日	4団体	116人	2日	2団体	70人	1日	1団体	7人
3月	7日	7団体	378人	10日	10団体	313人	7日	8団体	349人
計	43日	44団体	1,894人	33日	36団体	1,378人	20日	21団体	918人

●アトリエ

月	R 4年度			R 3年度			R 2年度		
	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数	利用日数	団体数	利用者数
4月	4日	4団体	41人	4日	4団体	36人	-	-	-
5月	1日	1団体	4人	1日	1団体	4人	-	-	-
6月	5日	7団体	76人	3日	4団体	41人	-	-	-
7月	3日	3団体	35人	4日	4団体	32人	4日	4団体	48人
8月	3日	3団体	51人	1日	1団体	12人	0日	0団体	0人
9月	2日	3団体	26人	2日	2団体	23人	2日	2団体	13人
10月	6日	6団体	102人	4日	4団体	83人	3日	3団体	28人
11月	3日	3団体	33人	5日	5団体	52人	4日	4団体	39人
12月	2日	2団体	27人	3日	3団体	23人	4日	4団体	32人
1月	8日	2団体	298人	10日	5団体	273人	10日	1団体	149人
2月	4日	4団体	50人	1日	1団体	12人	1日	1団体	6人
3月	7日	8団体	75人	3日	3団体	31人	4日	4団体	33人
計	48日	46団体	818人	41日	37団体	622人	32日	23団体	348人

VI 施設の管理

●防災訓練

実施日時： 令和5年3月16日（木） 10：30～11：00

内 容： 新型コロナウイルス感染症対策のため、昨年度に引き続き職員及び委託業者を対象に書面による訓練を実施し、展示室避難経路の確認、消火器・消火栓・ハロン放出装置の配置確認、非常用発電機について説明しました。